



【由布】由布市湯布院町川南の伊美シゲノさんが1日、100歳を迎えた。夫の公義さんは昨年9月1日に100歳となっており、夫婦そろって紀寿となった。幼なじみで80年近く連れ添ってきた2人は同じ高齢者施設で暮らす。シゲノさんは「ここまで元気に過ごすことができたのは皆さんのおかげ」と周囲に感謝した。

由布の伊美公義さん・シゲノさん

夫婦そろって100歳となった伊美公義さん(右)とシゲノさん。由布市庄内町高岡



夫婦そろって100歳

幼なじみ、ずっと一緒

2人は同所出身で家が近所だった。終戦後すぐ、20代前半で結婚。公義さんは自動車教習所の経営やミシンの販売、別荘の管理などに従事。シゲノさんは実家の農業を手伝いながら子ども3人を育てた。2人とも90歳頃まで畑仕事をしていたという。

2人は昨年1月から同市庄内町の有料老人ホームに入所。日中はデイサービスに通い、積極的にレクリエーションや体操に参加している。隣同士で会話をしながら食事をし、公義さんは「長く一緒にいるので理解し合っている」と夫婦円満の秘訣を明かした。

1月30日には、施設を相馬尊重市長が訪れ、家族やデイサービス利用者と一緒に長寿を祝った。シゲノさんとそろいの、金色の帽子と衣装を着た公義さんは「こんなに盛大にお祝いしてもらえるとはありがたい」と喜んだ。

市高齢者支援課によると、昨年9月1日現在の市内の100歳以上は52人。相馬市長は「夫婦で100歳を迎えるのは珍しく、おめでたいこと。今後も仲良く元気で過ごしてほしい」と話した。

(池田美香)



〔問①〕 記事の中では「100歳」のことを別の呼び方で何と書いていますか。漢字二文字で抜き出しましょう。

〔問②〕 夫婦そろって100歳となった伊美公義さんは「夫婦円満」の秘訣（ひけつ）を何と話していますか。

〔問③〕 記事では由布市内の100歳以上のお年寄りは何人と紹介されていますか。

〔問④〕 長生きをするために、普段の生活ではどんなことを心がけるとよいと思いますか。また、あなたの家族や身近な人が、これからも元気に楽しく過ごすために、あなたができることは何だと思いますか。自分の考えを書きましょう。